

AIの活用



近年、医療分野でもAIが普及していると聞きますが、本当ですか？

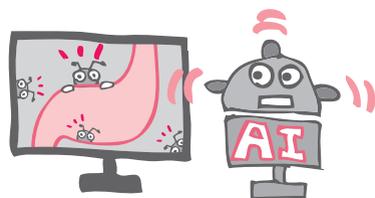


ここ数年、医療における診断や手術に人工知

能(AI)が入ってきて、革命的な進歩が見られます。例えば、CTやMRIなどの画像診断

で肺がん、肝臓がん、乳がんなどの発見率が向上し、誤診率も急速に低下しています。消化管や気管支、膀胱(ぼうこう)などでも内視鏡によ

るAI診断が大きな成果を上げています。また、対話型生成AI「チャットGPT」によって治療問答が可能となり、大量の健康診断データや心電図データを解析し、疾病リ



スクなどを早期に発見したり、教育・研究の効率化にも大きく貢献したりしています。そして、全国的に医療環境が整備されつつあり、医療従事者の業務負担の軽減や

医療の質の向上にも大いに役立つ時代になっています。ただし、チャットGPTは過去にはない新しい事例の問答に対応できない、手先の器用さはないな

どの欠点があります。



高知高須病院
名誉院長 堀見 忠司さん

高知市大津乙2705-1 TEL088-878-3377